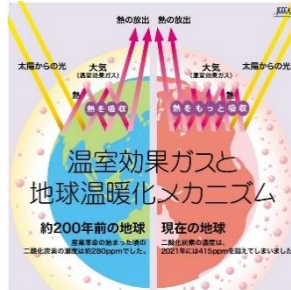


1 計画策定の目的

P2～

世界的命題である温室効果ガス排出量の削減に向け、美幌町は、令和4年3月に「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ」を目指すことを表明し、その足元の2030年までの温室効果ガスの削減目標を定めるほか、町民、事業者そして美幌町がどのように取組を進める必要があるのかその方向性と内容を示すため、本計画を策定するものです。



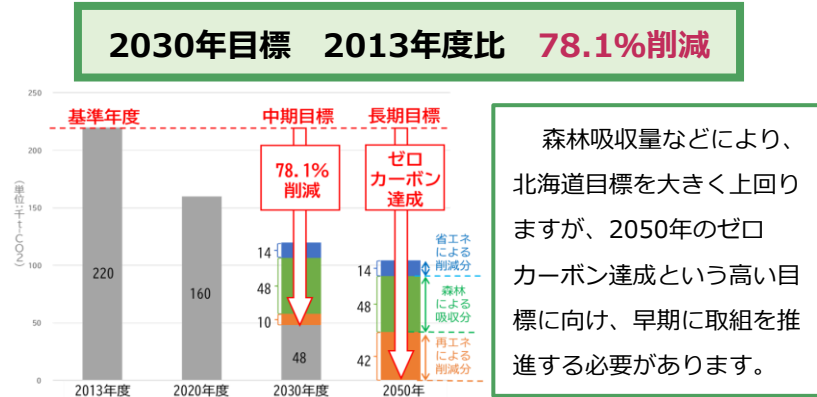
重要な視点

「ゼロカーボンはまちづくりの手段」
排出量削減だけでなく、地域課題の解決を同時に図る

2 温室効果ガス削減目標

P19～

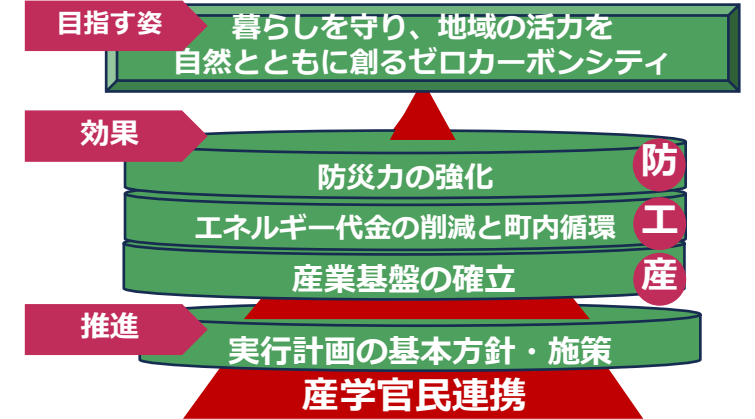
2050年のゼロカーボン達成を長期目標、基準年度を2013年度とした2030年の中期目標を掲げます。



3 美幌町が目指す姿～3つの効果が作り出す姿～

P25～

取組を推進し、**防災**力強化、**エ**ネルギー代金の削減と町内循環、**産**業基盤の確立を図ることで目指す姿を実現します。



4 実行計画の基本方針と重点構想 ～3つの効果**防****工****産**を生み出す取り組み～

P26～

基本方針 1 防 工
省エネルギー化の推進と脱炭素化の機運の醸成

- ①日常生活での省エネルギー行動の実施
▷省エネ診断の普及、ナチュラルビズスタイルの促進など
- ②建物の断熱化、高効率機器の導入促進
▷省エネリフォーム補助支援、給湯機等の高効率化促進など
- ③脱炭素に関する積極的な啓発活動と人材育成
▷脱炭素に係る意識醸成のための資料の作成、配布など

基本方針 2 防 工 産
再生可能エネルギー導入の推進

- ①太陽光発電による電力利用の推進
▷公共施設、家庭、企業へ太陽光発電設備、蓄電池導入など
- ②木質バイオマス資源の熱利用の推進
▷木質ペレットストーブ導入に対する補助支援など
- ③その他の再生可能エネルギーの導入検討
▷小水力や雪氷冷熱等の技術的・経済的な導入調査検討など

基本方針 3 産
自然環境の保全と活用

- ①森林の持続可能な管理・利用による吸収源確保
▷環境に配慮した適切な森林管理、町産材の利用促進など
- ②カーボンクレジット活用の推進
▷クレジット創出・活用によるサービス開発検討など
- ③低炭素な観光・グリーンツーリズムの推進
▷ゼロカーボンパークの推進、低炭素な移動手段の検討など

基本方針 4 工
循環型社会の形成

- ①リサイクル等（3R）の推進
▷わかりやすい情報の発信によるごみの削減、分別の徹底
▷デザインごみ袋によるレジ袋削減の検討 など

基本方針1～3において、**特に重点的に取り組む施策**として、次のとおり「**重点構想**」を設定します

重点構想 1 自然を守り地域力を高める人づくり

1-①ゼロカーボン教育の推進

教育機関等と連携し、本町が実施する森づくりをはじめとした木育に加え、気候問題などの環境教育を推進し、脱炭素社会実現に向けた人材の育成を図る



美幌中学校の森づくり

主な取組：学生を対象とした環境学習の実施

1-②地球温暖化に関する普及啓発の実施

イベントの実施や資料配布を行い、脱炭素に対する理解を深め、具体的な行動を起こすきっかけづくりを行う

主な取組：脱炭素に係るイベントの実施

重点構想 2 再エネ最大限導入による防災力の強化

2-①施設・住宅のエネルギーの自給化、地域レジリエンス強化

公共施設等防災拠点や個別住宅へ再エネの最大限導入によるエネルギーの自給・地産地消を推進し、災害時における防災力強化とエネルギー代金の町内循環を図る

主な取組：PPA事業を活用した太陽光設備の積極導入

2-②再エネ導入による産業の競争力の強化

多様な主体が連携し、町内企業における脱炭素推進体制を構築。再エネ導入を推進し、産業競争力の強化・産業基盤の確立を図る



役場庁舎の太陽光パネル

主な取組：町内連携体制の構築・情報発信の強化

重点構想 3 グリーンツーリズムの推進と関係人口の創出

3-①美幌町の資源を生かしたゼロカーボン観光の推進

雄大な自然を生かしたアクティビティの提供や、観光拠点における省エネ・再エネの推進を図り、環境価値の高いゼロカーボン観光の提供を推進し、観光客への訴求力向上を図る

主な取組：域内モビリティ（交通手段）の脱炭素化検討



美幌峠



屈斜路カルデラトレイル